

平成21年度 決算のあらまし

6月24日に開かれた第139回組合会において、平成21年度の決算が承認されました。各経理の決算の概要をお知らせします。



組合の概況

昨年に引き続き、組合員数及び被扶養者数ともに減少しました。また、一般組合員の平均給料月額についても、短期、長期とも減少となりました。

組合の概況 (任意継続組合員を除く)

区分	20年度	21年度	比較	
所属所数	130	121	△9	
組合員数(人)	23,607	23,055	△552	
被扶養者数(人)	28,746	28,009	△737	
一般組合員平均給料月額(円)	短期	341,412	337,712	△3,700
	長期	340,932	337,266	△3,666
組合員1人当たりの被扶養者数(人)	1.22	1.22	0.00	

20年度から繰越した損失金が、8800万円ですので、22年度に繰り越す損失金が1400万円となりました。

共済組合が病院等に支払った医療費の総額(医療給付額)は20年度に比べて3700万円の減少となっています(下表参照)。今後とも組合員のみなさまには、医療費の抑制と適正受診にご理解ご協力をお願いします。

医療給付の状況

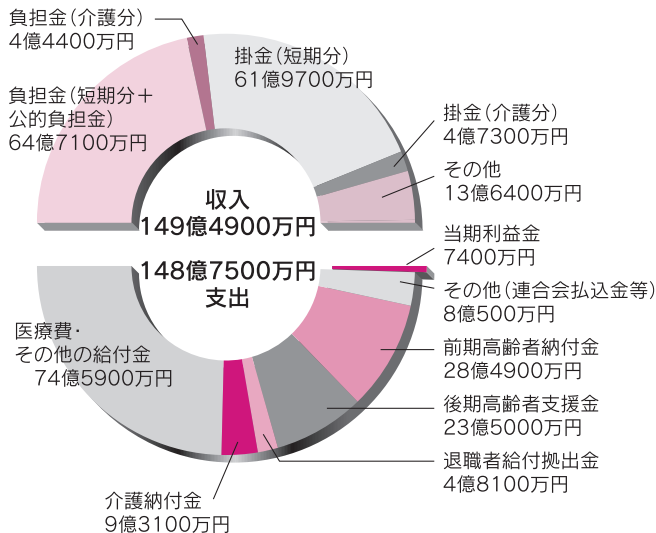
区分	平成20年度	平成21年度	前年度対比(単位:%)
医療給付額(円)	6,404,062,026	6,366,801,555	99.4
受診件数(件)	436,476	434,671	99.6
1件当たり金額(円)	14,672	14,647	99.8
組合員1人当たり金額(円)	262,569	266,327	101.4

短期経理

医療費や出産、死亡、災害等に伴う給付と老人保健拠出金や介護納付金などの支払い業務を行っています

収支の状況は、収入が149億4900万円、支出が148億7500万円となり、差し引き7400万円の当期利益金が生じています(グラフ①)。

グラフ① 短期経理の収支内訳



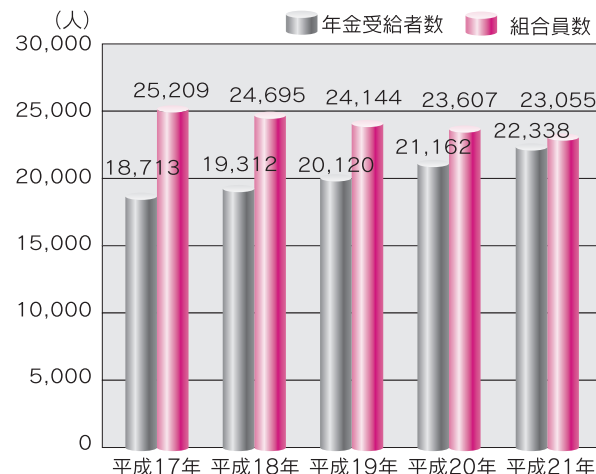
長期経理

組合員のみなさんの退職、障害、死亡に伴う年金の給付を行っています

収入は、掛金による収入が112億円、負担金による収入が218億9800万円と合計330億9800万円は、払込金として、すべて全国市町村職員共済組合連合会に支出されました。

また、年金受給者数は22,338人と、昨年に比べ1,176人の増加となり、引き続き増加傾向をたどっています(グラフ②)。新法年金(昭和61年実施)にお

グラフ② 年金受給者数と組合員数の推移



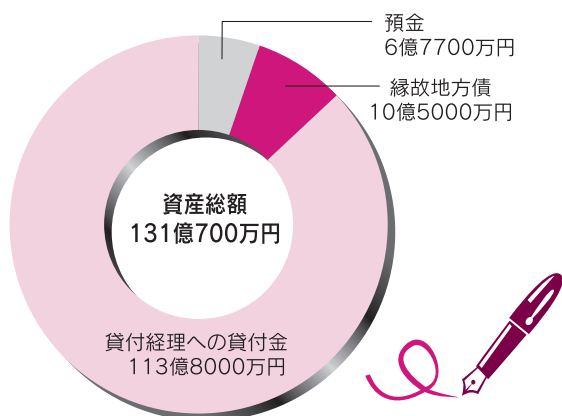
る年間の平均年金額は、退職共済年金が163万円（前年度164万円）、障害共済年金が118万円（同118万円）、遺族共済年金が141万円（同141万円）でした。

預託金管理経理

全国市町村職員共済組合連合会が管理する長期給付積立金の一部を運用し、他経理への貸付等を行っています

預託金管理経理の資産総額は131億700万円となり、その構成内訳はグラフ③のとおりです

グラフ③ 預託金管理経理資産の構成割合



業務経理

短期・長期給付事業を行うための事務費、人件費等をまかなっています

各地方公共団体からの負担金と、短期経理からの繰入、連合会交付金等による収入が3億5400万円で、支出が3億200万円となり、差し引き5200万円の当期利益金が生じました。この利益金は、積立金として22年度に繰り越しています。



保健経理

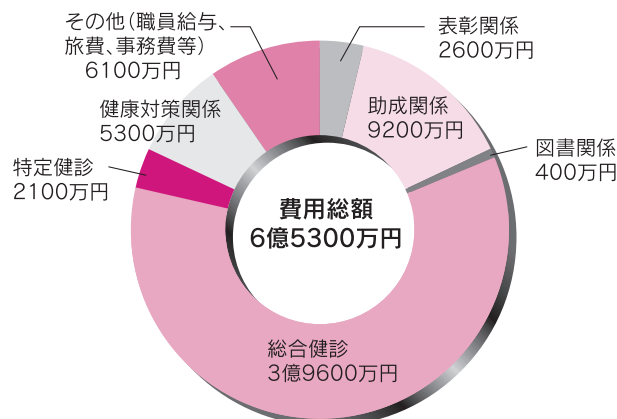
組合員及び被扶養者のみなさんの健康の保持増進を目的とした、総合健診や各種セミナーの開催、宿泊施設やリフレッシュ施設の利用助成等の事業を行っています

収支の状況は、収入が6億4400万円、支出が6億5300万円となり、差し引き900万円の当期損失金が生じました。

この損失金については、前年度より繰り越した積立金より補てんしています。

保健経理の費用内訳は、グラフ④のとおりです。

グラフ④ 保健経理の費用内訳

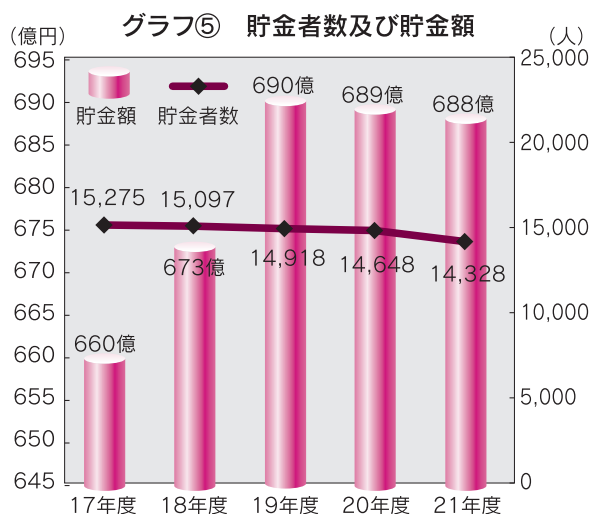


貯金経理

組合員のみなさんからお預かりした貯金を効率的に運用し、銀行等の預貯金よりも有利な利息で還元する事業を行っています

収支の状況は、利息等による収入が5億7600万円、支払利息等による支出が10億4800万円となり、差し引き4億7200万円の当期損失金が生じましたが、前年度より繰り越した積立金より補てんしています。

貯金者数と貯金額の推移はグラフ⑤のとおりです。



貸付経理

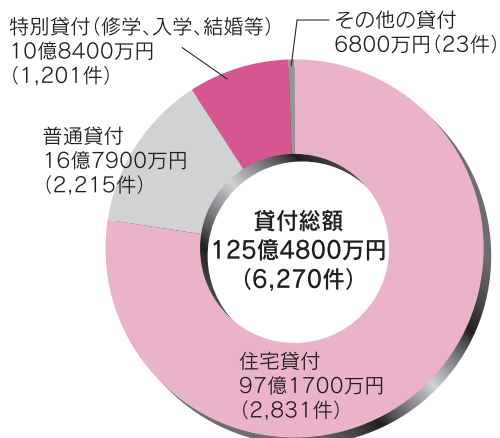
組合員のみなさんの住宅資金や結婚、入学、修学等に伴う臨時の出費に対し、低利で貸し付けを行っています

貸付金の利息等による収入が3億7800万円、貸付経理の資金を借入れしている預託金管理経理への、借入金に対する支払利息等による支出が3億6700万円となり、差し引き1100万円の当期利益金が生じました。

この利益金は、積立金として22年度に繰り越しています。

また、貸付状況はグラフ⑥のとおりとなり、貸付金の総額は125億4800万円となっています。

グラフ⑥ 貸付状況



物資経理

組合員のみなさんがライフカードを使って生活必需物資を購入し、月賦で共済組合へ償還することにより、生活の安定を図ることを目的とした事業を行っています

収支の状況は、指定店からの手数料等による収入が1670万円、貯金経理への支払利息等による支出が

1290万円となり、差し引き380万円の当期利益金が生じました。

この利益金は、欠損金補てん積立金として22年度に繰り越しています。

物資の売上状況はグラフ⑦のとおりとなっています。

また、今年度より自動車購入のご利用限度額が300万円までに増額され、さらに組合員の方に利用いただきやすい事業内容に変更しております。

グラフ⑦ 物資売上状況

